

令和6年度第2回仙台地区教科用図書採択協議会議事録要旨

- 1 開催日時 令和6年7月10日(水)午後2時30分～午後4時30分
- 2 開催場所 富谷市役所305会議室
- 3 委員定数 16名
- 4 説明出席者 事務局(富谷市教育委員会 学校教育課)5名
- 5 開 会 (進行:今野学校教育課長)

事務局が開会を宣言、及川 芳彦 委員より挨拶。

6 確 認

事務局が審議に移る前に、本協議会は、文部科学省の通知にあるとおり、静ひつな採択環境の確保に努めるとともに、他地区の審議に影響を及ぼすことのないように、教科書採択の最終期日である8月31日までは非公開とする旨、議事録の作成、ホームページでの公表について確認した。

7 審 議(議長:及川 芳彦 委員)

令和7年度使用教科用図書について

《資料の説明》

事務局 島貫 参事兼指導主事より資料について説明した。

《協議会における採択決定の流れ》

及川 芳彦 議長より以下について説明、確認をした。

・規約第9条により、本日の議決は、委員の出席が半数を超えていることから、有効議決となり、仙台地区としての令和7年度使用の教科用図書採択が決定すること。

・仙台地区教科用図書採択協議会規約第十条にあるとおり、各市町村教育委員会から提出された採択計画13市町村分を取りまとめた集計結果と、6月19日・20日に開催した専門委員会による調査研究内容、及び宮城県教育委員会が作成した選定資料、これらを総合的に勘案して決定すること。

・「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の第13条「当該採択地区内の市町村の教育委員会は、協議して種目ごとに同一の教科用図書を採択しなければならない。」に基づき、仙台地区教科用図書採択協議会として、審議を進めること。

(1) 中学校用教科用図書審議

《専門委員会における調査・研究の報告》

① 国語及び書写について

大寺 紀子 代表専門委員より以下の報告がされた。

ア 国語について

・東京書籍は、巻頭に領域ごとの学習事項があり、学習指導要領との対応が明示されている。

そして領域間の関連が図られており、3年間を見通して系統的・段階的に積み上げられるよう内

容が配置されている。また、解説動画や朗読の二次元コードが掲載され、活動のイメージを明確に持たせるとともに、生徒の興味を引き出す工夫がされている。さらには、イラストのタッチが柔らかであることや、多様性に配慮したキャラクターを起用することで、生徒が親しみを感じられるよう工夫されている。

- ・三省堂は、現代的な課題を身近な教材として取り上げ、自立や社会参加を促したり、継承された言語文化を重視させたりする工夫がされている。3年間を見通した組織的、系統的な配列となっており、目標から振り返りまでの過程が示されている。「学びの道しるべ」で学習の流れや発展的な課題を提示することで、考えを深めていくことのできる工夫がされている。

- ・教育出版は、名作から近年話題の著名人が執筆した作品まで幅広く集められている。各題材の「みちしるべ」という項目では、生徒の発達段階に応じて基礎・基本的課題から発展的課題が段階的に学習できるように配置されている。また、教材の前に「学びナビ」が配置され、各教材の学習のポイントや教材の見方が示されている。全体を通じてキャラクターには多様な生徒像を意識した配慮が見られている。

- ・光村図書出版は、描写や思考などを表す言葉を掲載した「語彙ブック」で生徒が語感を磨き、主体的に語彙の獲得・活用ができるようになっている。また、「学びの扉」では、学習過程が縦方向にモデル化されており、学習の深まりを視覚的に捉えられるようになっている。他教科や総合的な学習の時間等と関連させた「学びのカギ」で、発展的な学習に取り組むことのできる仕組みや、何を学ぶのか分かりやすくなる工夫も見られる。

イ 書写について

- ・東京書籍は、巻末の「書写活用ブック」で他分野の教育活動にも生かすことができるよう、工夫がなされている。教材の配列が学校行事等に適合しており、国語の学習とも関連付けられている。書き手の意図を考えさせる課題や、書き損じ例など、主体的な学びを促す工夫もなされている。また、朱墨と薄墨による筆の流れが見やすく、取り組むときの参考にできるように配慮されている。左利きの生徒にも配慮されている。

- ・三省堂は振り返りの課題に対応する内容を扱うことで、生徒の知識・技能を高める一助となっている。巻末に二次元コードが一覧になっており、参考にするべき動画等が探しやすい工夫がなされている。また、各学年の最後には「やってみよう」というページで国語との関連教材が配置されている。文字数を厳選することで、文字に苦手意識を持つ生徒に配慮されており、また、左利きの生徒にも配慮した作りになっている。

- ・教育出版は、小中学校で学習した漢字一覧表が部首ごとに楷書、行書で掲載されている。字形だけでなく、筆順についても言及し、字形を整えるために筆順の大切さを気付かせる工夫がなされている。新聞やノートの例が豊富であり、実生活に生かす意欲を喚起できる。さらには教科書のサイズが大きく、見やすい。また、左利きの生徒にも配慮されている。

- ・光村図書出版は、SDGsを意識した内容やユニバーサルデザインへの関心を高め、理解を深める工夫がなされている。1教材1指導事項で構成されており、学習のねらいが簡潔に示されている。手書きとデジタル（活字）のよさや特徴について考える教材や年賀状の書き方など日常に生きる力を育む書写ブック（書写ノート）が用意されている。イラストや写真を効果的に使い、書写への興味を引き出す工夫もなされている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、国語について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択すること
でよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

及川 芳彦 議長より、書写について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択すること
でよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

② 社会（地理・歴史・公民）及び地図について

久保井 裕之 代表専門委員より以下の報告がされた。

ア 社会（地理・歴史・公民）について

・東京書籍は、地理、歴史、公民、地図の4冊で、どの分野でも特別支援教育やインクルーシブ教育への配慮として、UD フォントを採用し、色覚特性にも配慮した教科書となっている。また、主体的な学びを目指す工夫として、生徒の表現を促す課題がどの分野にも設定され、振り返りのページが設定されている。更に、歴史では、全体を俯瞰できるよう歴史年表が適宜配置されているのも特徴。地図帳は柔らかい配色でありながら、文字も資料も非常に読みやすくなっており、横断的な学習にも活かすことができるようになっている。

・帝国書院は、地理、歴史、公民、地図の4冊で、どの分野でも「学習課題」、「確認」、「振り返り」の流れが構造化されており、ICT を活用した学習にも生かせる工夫も見られる。地図帳は資料や主題図が多く配置され、生徒が興味や関心を抱きやすい配慮が見られる。また SDGs のテーマを設けられ、持続可能な社会について理解を深められるよう工夫されている。

・教育出版は、地理・歴史・公民の3冊で、3冊共に図版が大きく本文の量が抑えられている。また、背景色や囲み線をつけられているので、図版と本文がより見やすくなっている。さらに、章ごと学習の見通しが示され、「基礎的・基本的な知識・技能の習得」と「思考力・判断力・表現力を育てる課題」に分けて、まとめられるように工夫されている。

・日本文教出版は、地理・歴史・公民の3冊で、3冊共に単元ごとに振り返りのページが設けられ、既習事項の確認と学習内容の深化をしやすい構成になっている。そして、各章とも生徒の思考が混乱しないように学習内容が系統立てられている。また、ページごとに生徒のより身近な例を写真、図版、マンガ等で掲示されている。歴史では、世界史の内容がコンパクトにまとめられ、より日本史を軸とした配列になっている。

・自由社は歴史と公民の2冊で、脚注やコラム、特集ページが充実しており、情報量が多い紙面で、より深い学びに挑戦したい生徒の希望に応える内容となっている。

・育鵬社は歴史と公民を2冊で、本文の内容を精選し、文章量を削減して図版や資料のスペースを大きくし、視覚に訴えるものとなっている。また、「節の課題」を各見開きに示し、生徒が見通しを持ちながら学習を進めることができる工夫がなされている。

・令和書籍は歴史1冊のみで、古代から系統的に配列され、歴史の流れがつかみやすくなっている。また、記述や図版が詳細なため、高校での歴史学習に結びつきやすい構成になっている。

特に、近代史の文献史料や天皇と戦争の関わりなど歴史的事象の記述が多く、生徒の発展的な学習に役立てられるような工夫がある。

- ・山川出版社は歴史1冊のみで、世紀ごとの世界の様子がまとめられるなど、世界史を背景に各時代の特色を大きく捉えることができるように工夫されている。

- ・学び舎は歴史1冊のみで、大きめサイズの紙面に図版や資料が目立つように配置されている。また、題材の各タイトルが生徒の興味・関心を引くよう工夫されており、学習意欲を高めるものとなっている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、社会（地理・歴史・公民）について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択することでよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

及川 芳彦 議長より、地図について全ての教育委員会が推薦する帝国書院を採択することでよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

③ 数学について

咲間 透 代表専門委員より以下の報告がされた。

- ・東京書籍は、全体を通して、日常の事象を問題として扱う場面が多く、生徒に興味を持たせ、問題意識を持って課題に向き合えるような工夫がなされている。また、各章とも問題解決型の導入となっており、自然な流れで主体的・対話的で深い学びに取り組めるよう工夫がなされている。デジタルコンテンツの使用場面が豊富で、ほぼすべてのページに二次元コードが設定されており、主体的に学習できるように工夫されている。また、ルビにはユニバーサルデザインフォントを取り入れており、色覚特性についても配慮されている。

- ・大日本図書は、「教科書の使い方」が1学年のみ見開き3ページに掲載されるなど、学年に応じた形になるよう工夫されている。また、習熟度に応じて適切な難易度の問題に挑戦ができるよう「たしかめよう」「章を振り返ろう」「力をのばそう」「活用・探究」など様々な難易度の問題が充実させている。各章の問いには「プラスワン」という難易度の高い問題にも挑戦できるようになっている。全学年を通して領域ごとに見出しの色を変える工夫がなされており、系統立てた学習内容であることを明示されている。

- ・学校図書は、新たな学習課題が「Question」と分かりやすく明示されており、考え方のヒントになる「見方・考え方」が記されている。また、節ごとに目標と振り返りが表示されており、学習内容が分かりやすくなるよう工夫されている。数学に対する興味を高めたり、

知識を深めたりすることができるよう「T e a B r e a k」や「数学へのいざない」などのコラムが数多く適切に配置されている。二次元コードのそばに、コンテンツの内容が明記されており、分かりやすくなるよう工夫されている。

- ・教育出版は、各章の始まりでは、学習する内容と関連の深い写真を掲載し、章末でその内容に触れることで、数学と生活のつながりを示している。また、発展的な学習課題において「学びのプロセス」が明記されている箇所があり、個人で学習を進める際の道標となっている。既習事項とのつながりを意識させるための「もどって確認」やこれまでの学習内容の系統性を意識させるための「学びのマップ」が、学習内容の理解の手助けとなるよう工夫されている。

- ・啓林館は、各節ごとに、これから学習する内容に関連する題材を取り入れており、生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。また、生徒が個別最適な学習につなげられるように、章末問題では「学びをたしかめよう」と「学びを身につけよう」の2部構成となっている。二次元コードを活用して、解法動画やスライドショー、例題の解説に取り組めるよう工夫されている。さらに、「ふりかえりCBT」等のデジタル教材が充実している。行間が広めに設定されており、学習に取り組みやすいよう配慮がなされている。

- ・数研出版は、全体的に、日常的な事象を多く扱うことで、生活の中での数学の生かし方、数学的な考え方のよさに触れている。また、章ごとにも、日常の事象を問題として扱い、1つの単元が系統的に学べる工夫がなされている。裏表紙には「学びの自己評価」のページがあり、「自分で学ぶ力」「学び合いの力」という到達目標のチェック項目が示されていて、自己の学びを振り返りやすくするための工夫がなされている。「計算をしましょう」から「計算をしなさい」という表現に変えるなど、学年に応じた適切な表現になるよう配慮がなされている。

- ・日本文教出版は、巻末には「ふり返しシート」や「対話シート」が用意されており、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を向上させる工夫がなされている。また、「大切な見方・考え方」という情報が数多く掲載されており、発展的な見方や考え方が定着しやすいよう配慮がなされている。小単元では、めあてが分かりやすく示され、学習する上での方向性が把握しやすくなっている。二次元コードが、すべてのページの外側に配置されており、見つけやすく配慮されている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、数学について全ての教育委員会が推薦する東京書籍を採択することでよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

④理科について

雫石 由紀子 代表専門委員より以下の報告がされた。

- ・東京書籍は、生徒が自然事象から感じる不思議さや疑問を探究活動の出発点になるよう、題材が精選されている。また、小・中のスムーズな接続を重視し、単元の冒頭に既習事項を記載した「これまでに学んだこと」を配置し、生徒が単元の学習に取り組むやすい導入となっている。探究の過程については、紙面に「問題発見」や「仮説」などの言語化したアイコンや、フローチ

ャートで探究の過程を示すことで、生徒の自主的な学習をサポートするよう工夫が施されている。学習内容に関連する箇所配置された二次元コードや、単元末に掲載された「社会につながる科学」等のコラムによって、個別最適な学習やキャリア教育、防災・減災教育、SDGs といった今日的課題への対応もなされている。また、教科書の文字は、ユニバーサルデザインフォントを採用しているほか、発達段階を考慮し、1年生は、2、3年生より本文の側注幅を大きく設定して読みやすくする工夫や、色覚に関する個人差を考慮し、グラフの線種を変えたり文字を付記したりするなどの工夫が施されている。

・大日本図書は、生徒の興味・関心を引き出す魅力的な写真、ユニバーサルデザインフォントの採用、行間・字間・改行の工夫、読みやすい配色やレイアウトの工夫など、生徒の学びやすさを重視した体裁になっている。各単元の導入部に、小学校や下位学年の学習内容の振り返りを設け、学習内容のつながりを意識させる工夫が施されている。探究の過程については、身に付けさせたい課題解決の能力を学年ごとに重点化し、三年間の理科の学習を通してこれらの力を習得することができるよう工夫も見られる。また、単元の最後に「単元末問題」「読解力問題」を配置し、基礎的・基本的な学力の定着と個別最適な学びに対応しているほか、学んだことを活用しながら課題解決学習に取り組ませるための「探究活動」が配置されている。二次元コードを使った観察・実験の解説動画のほか、「つながる×Science Press」「くらしの中の理科」などのコラムやデジタル教材が充実しており、他教科との関連やキャリア教育、防災教育といった現代的な諸課題への対応もなされている。

・学校図書は、全紙面をウェブページ化し、個の特性に応じて総ルビ、多言語表記などの対応がなされている。掲載された二次元コードからは様々なコンテンツや自学自習用チャットボットにつながることができ、個別最適な学習への対応もなされている。紙面には図や写真を大きく掲載し、生徒の興味・関心を高める工夫や、本文以外の文字を小さくすることで本文を際立たせる工夫がなされている。また、各単元の冒頭に身に付けさせたい目標が「Can - Do list」にまとめられており、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう工夫が施されている。本書に掲載されているコラム「理路整然」では、科学的探究の過程を分解して示し、探究の進め方がわかりやすく説明されているほか、話し合い活動を意識した協働的な学習活動が配置されている。巻末には読み物資料がまとめて掲載されており、学習進度を妨げないよう配慮されているほか、計算演習、読解力問題、学調や高校入試の過去問及び解説を配置し、学習内容の確実な定着と学びを活用した学習への対応がなされている。

・教育出版は、ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを採用し、個の特性に配慮した体裁となっている。巻頭には「探究の進め方」が記載されており、科学的に探究するために必要な資質・能力を育むための工夫が施されているほか、単元の始めに記載された「学んでいくこと」で各章のねらいを明確にし、見通しをもって学習に取り組ませるための工夫がなされている。本書は身近な自然現象や日常生活と関連の深い事象をもとに生徒が課題を設定するよう教材が精選されており、追究や解決の過程で主体的・対話的な活動を行う場面が各単元に設定されている。単元末には基本問題を、巻末に総合問題を掲載し、基礎的・基本的内容の定着と発展的な学習への配慮がされている。また、「まなびリンク」では、二次元コードから動画や図鑑資料、学習ツールなどのデジタル教材を提供しているほか、豊富な読み物資料では他教科との関連や今日的課題、科学の有用性について触れており、生徒の学習意欲を高めるとともに個別最適な学習への対応がなされている。

・啓林館は、単元や節の導入で、生徒の興味・関心を高める写真・資料が示され、生徒が主体的に問題を発見できるよう工夫が見られるほか、様々なコラム記事を通して理科の有用性や理科を生かした職業への憧れ、郷土愛を育むための工夫が施されている。また、小学校から高等学校までの系統立った学びに留意し、単元内に「つながる学び」を配置されている。探究学習

では、各節とも課題の把握、追究、解決の順に構成されており、探究の過程を意識して学習に取り組めるよう工夫が見られるほか、他者の意見を参考にしながら自分の考えの妥当性を検討する場面を設定するなど、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫が施されている。本書は解説動画の他に、発表スライドや振り返り、活用（CBT）等に対応したデジタル教材が掲載されており、生徒の主体的・協働的な学びのサポートのほか、生徒の個別最適な学びに対応するための探究のページを単元末に設定し、個々が学習内容を活用し、より深い学びへつなげることができるよう留意されている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、理科について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択することにより、いかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

⑤音楽（一般・器楽合奏）について

薄井 紀子 代表専門委員より以下の報告がされた。

ア 音楽一般について

- ・教育出版は、歌唱活動において、生徒の身体の発達段階に応じて、変声期でも無理なく移行できるような配慮がなされている。教科書冒頭では、「学習 MAP」内に「学習の進め方」での〔共通事項〕の提示、ねらいに応じた各教材の配置と、他領域との関わりを掲載することにより、各項目を確認しながら学習を進められるよう配慮がなされている。「話し合おう」「調べてみよう」「比べてみよう」など、ところどころに学びの手がかりとなるヒントが書かれており、なおかつ二次元コードよりWEBサイト「まなびりんく」の音源を活用しながら、主体的・対話的な学びを促すことができるよう工夫されている。
- ・教育芸術社は、創作活動において、全学年に共通したコーナーを設け、学年ごとに発展していくよう分かりやすく課題が示され、生徒が創作に無理なく取り組めるような工夫がなされている。震災復興など、生活や社会と音楽のつながりについても、実感できる教材を取り上げており、生徒が身近な事例等を通して学習活動に取り組めるように工夫されている。教科書には二次元コードが記載されている。WEB上に、掲載されている楽曲についての音源が載っており、生徒がタブレットで自由に確認できるようになっている。また、創作ツールを掲載し、手軽に創作活動に取り組める工夫がされており、楽しみながらねらいに合わせた活動を行うことができるようになっている。

イ 音楽器楽合奏について

- ・教育出版は、器楽と鑑賞の関連を図るなど、学習の充実につながるよう、内容が工夫されている。学習内容が楽器ごとにまとめられ「各部の名称」「姿勢とかまえ方」「奏法の仕方」「合わせて演奏」と、ねらいを明確にして学習が進められるよう工夫がなされている。我が国の伝統的な楽器を扱う代表的な演奏者のメッセージが記載され、音楽を通して文化や社会と

のつながりについて、道徳心とともに学ぶことができる工夫がなされている。表面はマットでやわらかい素材でできており、触れた時にストレスを感じにくい工夫がなされている。

・教育芸術社は、生徒の心情に合った多彩なジャンルの楽曲や習熟度に応じた編曲、生徒の実態に即して段階的に技能を習得することができる構成等、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。管楽器、弦楽器、打楽器の順にまとまって掲載されており、楽器ごとに「演奏を聴こう」「楽器を知ろう」「楽器の名称」「姿勢とかまえ方」「楽器の奏法」等のまとまりがあり、学習のねらいを明確に把握できるよう配慮がなされている。要所に「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」「考えたいポイント」が設定されており、音楽的な見方・考え方を働かせる視点の確認や主体的な学習ができるように工夫されている。若手演奏家や著名人の写真が豊富で、専門家ならではの視点やメッセージにより生徒が憧れや親しみを持ち、音楽活動へ関心や意欲を高められるよう工夫されている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、音楽（一般・器楽合奏）について推薦する教育委員会の数が多い教育出版を採択することでよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

⑥美術について

安部 俊男 代表専門委員より以下の報告がされた。

・光村図書出版は、題材ごとに「表現」と「鑑賞」が盛り込まれ、相互に関連させながら往還することで、学習効果を高められる配列になっている。それぞれのページに制作過程が見える「みんなの工夫」が紹介されており、生徒が制作する際にイメージしやすくなっている。そして、二次元コンテンツを通して、同じ題材に取り組んだ生徒作品を数多く見ることができるようになっている。あわせて作者の言葉も掲載されており、発達段階の生徒の学びを深める工夫がされている。さらに別冊の3年間使用できる資料があり、例や解説も分かりやすくなっている。また学年が上がってから既習技法を振り返ることができるように工夫がされている。

・日本文教出版は、原寸大の作品が多く掲載されており、生徒が作品の実際の大きさや印象を実感できるように工夫されている。題材ごとにどう考えていけばよいかという「見方・考え方」に気付かせるため、「鑑賞の入り口」と「造形的な視点」が箱囲みで示している。また、作品を360度鑑賞できたり、簡単にコマ録りアニメーションが制作できたりするアプリにより、授業における活用の幅が広がるよう配慮されている。さらに、2・3年の教科書が上下巻に分かれており、生徒の発達段階に寄り添った学習指導が行えるよう工夫されている。

・開隆堂出版は、漫画やアニメーションなど美術を身近に感じられる作品が多く掲載されており、生徒が親しみをもって取り組めるよう工夫されている。題材の最初に提示する主文は三文程度にまとめられ、一読してその意味が読み取れる文章量になっている。それから各解説や作者の言葉についても、一文程度にまとめるように配慮されている。動勢やロゴタイプなど、授業に必要な「美術の用語」が紹介されており、すぐに理解を深められるような配慮がされている。さらに、教科書の表紙には作品の質感を捉えられるようにマチエールが

施されており、生徒の発見を促すつくりになっている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、美術について推薦する教育委員会の数が多い光村図書出版を採択することによりかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

⑦保健体育について

石川 綾香 代表専門委員より以下の報告がされた。

・東京書籍は、学びを深めるために、教科書紙面と一体的に活用できる豊富なデジタルコンテンツが配置されている。二次元コードを読み取ることで、アニメーション、資料映像など、多様な動画で生徒の好奇心を刺激し、授業を楽しみながら内容の理解を深め、生徒が主体的に学ぶことができるようになっている。さらに発展的な学習内容は、主に章末資料としてまとめられており、「発展」と記載されているため、基礎的・基本的な内容を確実に学んでから発展的な学習に進めやすい配慮が見られる。学習の流れとしましては、「見つける」で学習課題を明確にし、「課題の解決」で資料等を主体的に読み解いて基礎的・基本的な知識・技能の習得をし、「活用する」で話し合いなどの協働的な学習が行えるように工夫されている。これは、思考力・判断力・表現力等の評価にもつながる内容です。また、学習者用デジタル教科書で全133言語の翻訳ができるなど、外国につながるのある生徒の学びを支援する工夫がなされている。軽量の再生紙の使用や、全ての生徒の色覚特性に適應するデザインとなっており多様な生徒への配慮がなされている。

・大日本図書は、学びをサポートするウェブコンテンツが充実している。動画やアニメーションを印刷して使えるワークシートなど学びをサポートするもので、実習等の理解を深めやすく、「学ぶ楽しさ」や「わかる喜び」が実感できるように工夫されている。教科書は、基礎的・基本的内容は見開きの左ページに文章で、右ページに資料でまとめられている。図表などの資料が多く、また、発展的な学習内容は、章末資料にまとめられており、関連する単元や章末資料のページを確認できるように工夫されている。教科書の下部には、「ミニ知識」のコーナーがあり、生徒の興味・関心に応じて知識を得られるようになっている。さらに、外国につながるのある生徒に対応するために、デジタル教科書では、AI翻訳により13か国の言語をサポートする配慮がなされている。

・大修館書店は、学習内容が、3ステップの「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」で構成されており、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。発展的な学習内容は、単元ごとの特集資料としてまとめられ「発展」と記載されており、基礎的・基本的な学習内容から広がりを持たせて学習することができる工夫がなされている。

「自然災害」の学習では、章末で気象災害と地震災害をそれぞれ見開き2ページで扱っており、地域の実態に合わせた指導ができる配列となっている。また、学習意欲の高まりにつながるデジタルコンテンツが豊富に用意されている。二次元コードまたはアドレスからデジタル教材に容易にアクセスでき、「Webワークシート」や「保体クイズ」など、興味を持って

学べるように工夫されている。さらに「学習のまとめ」の場面で、生徒の生活に合わせた学習ができるよう配慮されている。文章と図や表の配置については、レイアウトやバランスが適切で、資料は緑色の罫線で囲んで本文と区別するなどの工夫がなされている。

・学研は、1時間ごとに「エクササイズ」や「学びを生かす」といった対話的な活動や、学んだことを基にして、実践的な課題に取り組める内容構成となっている。最新のデジタル写真や資料で視覚的に興味・関心を高め、学びを深めることができる工夫がされている。さらに、学習意欲の高まりにつながるよう、章の最後に「探求しようよ！」のページが設定されており、近年話題になっているテーマが記載されている。そのため、生徒の興味や関心が高まる内容となり、深い学びを実践するための手立てとなっている。学習形態については、個別最適な学びと、協働的な学びの両方をバランスよく取り入れ、生徒自身が調整しながら学ぶことができる工夫がなされている。章末では、「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」を設け、関連する資料を豊富に掲載しており、生徒の生活や地域の実態に応じて、広く適合できるよう配慮されている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、保健体育について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択することとでよいか諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

⑧技術・家庭について

鈴木 正光 代表専門委員より以下の報告がされた。

ア 技術分野について

・東京書籍は、新しいキーワードが多く取り入れられ、時代を反映した内容となっている。技術の最適化という指導上の要点がきちんと取り入れられた構成となっており、学習をまとめる前に、技術について考えることができるようになっている。内容Cエネルギー変換の技術の項目では、機構に関する説明について指導しやすいようによく整理されており、電気とも連動する内容で生徒も理解しやすくなっている。また、教科書の右下段にその単元／題材のまとめ方が書いてあるため、授業の最後に何をすべきなのか、生徒も教師も分かりやすくなっている。

・教育図書は、道具の使い方や名称などの内容が別冊の小冊子でまとめられており、作業する際に小冊子だけを用意すればよく、目的とするページを見付けやすくなっている。めあて、キーワードが単元の最初に記載されているので、生徒が学習内容を理解しやすい構成となっている。重要な語句については青色で強調されており、多くの漢字にルビが振られているため、誰一人取り残されない教育の実現につながっている。さまざまな立場の人のコメントがあり、生徒にとって気付きが多い内容となっている。

・開隆堂は、教科書全体の流れが、ガイダンス、作業の流れ、必要な知識、作業工程、振り返りとなっており、配列が分かりやすく構成されている。ガイダンスで取り上げている題材が身

近で新しい上に分かりやすく、生徒が興味を持ちやすい内容となっている。技術の最適化の観点から、技術のしくみや工夫を「Wants」「安全」「工夫」「経済」「環境」という表現を用いて、随所で確認できるように工夫されている。また、プログラミングについては、システム設計を視覚的に図式化するUMLを効果的に取り入れており、題材も豊富で説明も細かく、分かりやすい構成となっている。

イ 家庭分野について

- ・東京書籍は、巻頭のガイダンスが充実しており、教科書に直接書き込んで確認する項目が設けられ、1年生の学習の初めと3年後の変容を見て取ることができるように工夫されている。多様な実習例を写真付きで数多く取り上げており、各学校の実態に合った実習を選択することができるようになっている。内容Aの幼児や高齢者の学習が教科書の後半に位置付けられており、自立からの共生という流れになっている。教科書の右下段に、その単元や題材のまとめ方が書いてあるため、授業の最後に何をすべきなのか、生徒も教師も分かりやすくなっている。
- ・教育図書は、多くの学習内容を記載しようと工夫されている。学習指導要領の趣旨を踏まえ、「導入」、「本文」、「学びを生かす」、「まとめ」という教科書の流れに沿って進めることで、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力の育成につながるよう工夫されている。内容Aの家族に関する項目では、漫画やアニメを例として使用することにより、生徒の家庭環境への配慮もされている。重要な語句については青色で強調されていて、多くの漢字にルビが振られており、誰一人取り残さない教育に向けて工夫されている。
- ・開隆堂は、新しい内容が取り入れられており、見ていて楽しくなるように工夫されている。基礎的・基本的な内容から発展的な内容へと確実な習得ができるように構成されている。有名な野球選手やLGBTQなどの現代的な話題や課題などを取り上げて、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。重要な語句については、ゴシック体の太字で強調されており、多くの漢字に振り仮名が振られており、誰一人取り残されない教育に向けて工夫されている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、技術・家庭（技術分野・家庭分野）について推薦する教育委員会の数が多い開隆堂を採択することでよいか諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

⑨英語について

岡崎 正則 代表専門委員より以下の報告がされた。

- ・東京書籍は、1年生から落語や国際支援などのテーマが取り入れられており、幅広い視野を持って学習できるよう工夫されている。教科書本文が2ページに分かれており、文章量が多い教材は二単元扱いにするなどの工夫がされている。また、単元目標にあたるGoalが「防災・安全の意識」や「平和や人権」など意識を高く持ちながら学習できるよう工夫されている。発音記号の文字が青色で表示されており、確認しやすくなっている。また、見

やすいフォントが使われているなど、ユニバーサルデザインの観点からの配慮がなされている。

- ・開隆堂は、1年の学習内容はbe動詞を用いた各文型を学習した後に一般動詞を導入するように分けられている。その後に助動詞の導入となっており、混乱せずに学習できる配列となっている。小単元の各基本文を導入する前に「Scenes」という小単元でその文型を用いたSpeak & Writeが配置されている。また、SDGsやキャリア教育について話し合いながら英語の表現を使う機会が与えられている。モデル文や見本となる動画が設定されており、活動の仕方を視覚的に確認することができる。また、スピーチやディスカッションのステップを細かく示しており、活動に取り組みやすくなっている。

- ・教育出版は、マンガ形式で会話が進んだり、手塚治虫が取り上げられていたりして、親しみやすく感じた。サンタクロースやジョン万次郎など、題材を多様に取り上げているのも特徴である。教科書1ページ毎の語彙量が適切であり、全体的に読みやすく工夫がされている。Taskのページはどんな活動をするのかが明確に設定されており、取り組みやすい。教科書上部に音読の回数を記録できるようになっているなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。Grammarのページが設定されており、文法事項のまとめとして活用できるよう配慮されている。

- ・三省堂は、4技能5領域にわたって言語活動がバランス良く配置され、身近な内容から外国の学校生活などに話題が広がっており、外国語の背景にある文化に対する理解を深める内容が取りあげられている。二次元コードを用いると、単語や本文だけでなく、発音の採点機能や単語を選択する問題形式などあって充実した内容となっている。生徒が主体的に学習できるよう配慮がされたためと考える。For Self-studyとして学年の発達段階に合わせた自主学習へのアドバイスが提示されている。

- ・光村図書は身近なことを中心に内容が進み、会話練習の参考にしやすいよう工夫されている。各Unit後のGoalで技能統合型の課題が提示されており、様々な言語活動によって復習ができるよう工夫されている。「アルファベットを確かめよう」で選ばれている単語はフォニックスを意識しており、理解しやすくなっている。また、「Sounds and Letter」で子音字と母音時について学ぶ機会があり、初期段階で書く指導につなげやすいよう配慮されている。各小単元では会話文が多く、身近な話題についての生徒の経験や意見が述べられており、取り組みやすい内容になっている。一方で、読み物教材のLet's Readでは、まとまった文を読むことができ、長文読解の学習ができるように配置されている。

- ・啓林館は各学年の行事にあった話題が取り上げられており、生徒が題材を身近に感じられるよう工夫されている。英語の学び方で「単語を覚えるコツ」等の有用なコラムが各Unitの合間にあり、コミュニケーション活動がより豊かになると考える。be動詞と、一般動詞に分けて学習する時間が配分されており、指導を焦点化しやすくなっている。各ページ毎にRead、Listen、Speak、Writeの活動が設定されているため、4技能をバランスよく学べるようになっている。Focus on Formで扱っている学んだ文法のまとめは、英語の文構造などをもっと深く学びたい生徒にとって適している。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、英語について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択することにより、よいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

⑩特別の教科 道徳について

津川 千夏 代表専門委員より以下の報告がされた。

- ・東京書籍は、「いじめ」、「防災」、「情報モラル」、「多様性」、「SDGs」という現代の諸課題を中心に扱っている。「いじめ問題」と「生命尊重」の教材がそれぞれユニット化されており、一つのテーマについて継続して学びを深められるような構成になっている。また、「気付く」「考える」「深める・広げる」「振り返る」という4段階の学びを通して自己の生き方を深められるよう配慮されている。自分の考えを可視化するための教具として、心情円が添付されており、互いの気持ちを理解し、議論が深まるような工夫がなされている。
- ・教育出版は、新聞記事、生徒作文資料など、内容把握がしやすい多様な教材を扱い、段階を追った3つの発問によって考えを深めることができるよう配慮されている。特に深く考えさせたい「いじめ」や「人権問題」、「持続可能な社会」、「命の尊さ」については、教材とコラムがユニットで構成されており、問題の本質を多面的・多角的に深めることができるよう工夫されている。また、役割演技やリフレーミングなどの体験的な学習や、自分の生き方と関連付ける問題解決的な学習など、多様な指導方法が取り入れられているのも特徴の一つで、表現・体裁では、教材理解を促し、性別やジェンダーによる偏りがないような挿絵が使用されている。
- ・光村図書出版は「いじめ問題」、「情報モラル」、「環境」、「人権」などの現代的な課題を中心に、専門家や等身大の生徒が登場する読み物、現在活躍する人物を取り上げ、生徒の興味・関心をひく資料が取り上げられている。「学びをプラス」「チャレンジ」「やってみよう」「コラム」など、教材で学んだことが更に充実するような活動や資料が盛り込まれている。また、「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」のステップ学習を通して、道徳的価値を自分との関わりで考えること、多面的・多角的に捉えること、最終的に自己の生き方につなげられるよう工夫されている。
- ・日本文教出版は「いじめ」、「情報」、「環境」、「多様性」等の現代的なテーマに関する内容が扱われており、人物・場面設定が生徒にとって身近な人物や、有名人や漫画教材等、問題を自分のこととして考えられるように工夫されている。「いじめ」に関する教材では、いじめが起きやすい時期などを考慮し、複数回に分けて配列されている。コラムもあり「知識を深めるもの」と「スキルを身に付けるもの」の二段構成にし深い学びができるよう工夫されている。「気付く」「考える・議論する・深める」「見つめる・生かす」という学びを深めるためのステップが示され、別冊のノートが添付されているのが特徴的で、ノートの二次元コードにはシンキングツールがあり、授業で活用することができる。
- ・学研は「いのちの教育」を最も重要なテーマにし、特設ページ「クローズアップ」では、生徒の考えを更に深められるような資料を掲載している。「SDGs」、「多様性」、「キャリア教育」に関しては、ユニット学習を行い、広い視野で多面的・多角的に考えを深められるよう工夫されている。学習形態は「考えを深める4つのステップ」により生徒が道徳的価値を自分との関わりで考え、多面的・多角的に捉え、自己の生き方につなげられるよう配慮されている。挿絵や写真を多く掲載することで、教材の内容を視覚的に捉えられるような工夫もなされている。
- ・あかつき教育図書は名作教材と、新しい教材、著名な作家が描く教材など、生徒の心を揺

さぶる多様な教材が掲載されている。各教材の冒頭部分には内容項目の視点のみがマークで掲載されているので、生徒がフラットに教材に出会うよう工夫されている。また、「いじめ問題」をはじめとする現代的課題については、重点的に考えられるようにユニット化されている。特に2・3年生の教科書には「共に生きる社会」をテーマにユニット化され、継続して学びを深められるよう構成されている。「thinking」というコラムページや、役割演技・問題解決的な学習ができる「マイ・プラス」が設定されており、いろいろな立場で想像したり、更に視野を広げたりすることができるよう工夫されている。

・日本教科書は「いじめ防止」について直接的、間接的な形の両方を取り上げている。また、学校生活の中で陥りやすい場面を取り上げることで、生徒自身が自分事として考えやすいよう工夫されている。学校の年間指導計画に合わせて、4つの視点ごとに学習指導要領の22の内容項目が順に配列されており、行事等に合わせて並べ替えることができるよう考慮されている。巻末には「ウェルビングカード」が添付され取り、主観的、客観的なウェルビーイングの向上を重視し、話し合いをしたり、自分の思いを表現したりできるよう工夫がされている。

【質問・意見等】なし

及川 芳彦 議長より、特別の教科 道徳について推薦する教育委員会の数が多い東京書籍を採択することでよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

《採択結果についての確認》

及川 芳彦 議長より、採択の結果について教科ごとに再度確認をした。

(2) 特別支援学級用教科用図書審議

《専門委員会における調査・研究の報告》

齊藤 努 代表専門委員より以下の報告がされた。

・知的障害を有する児童生徒が使用する教科用図書は、発達段階や障害の程度に応じた効果的な指導を進めるために、次の四段階から採択を検討することになっている。一段階として、通常の学級と同様の当該学年の「検定済教科書」を検討する。当該学年の検定済教科書で学習することが困難な場合には、二段階として「下学年の検定済教科書」を検討する。下学年の検定済教科書でも学習することが困難な場合には、三段階として通称「☆印本」と言われる文部科学省著作教科書を検討する。「☆印本」と言われる文部科学省著作教科書で学習することも困難な場合には、四段階として学校教育法附則第9条の規定による教科用図書となる絵本等の「一般図書」を検討することとなる。特別支援学級に在籍し知的障害を有する児童に対しては、特別な教育課程での学習を進めるうえで、各学校では四段階の内容を検討しながら適切かつ必要な教科用図書を採択することになる。これらの点を踏まえ、文部科学省著作教科書である「☆印本」並びに「一般図書」につきまして、様々な実態に応じて効果的な指導ができる図

書であるかどうかに留意しながら調査研究を行った。調査研究を行った「☆印本」19冊、「一般図書」136冊のすべてについて、「様式A」にございますように、内容、組織・配列、学習・指導、表現・体裁の四つの観点から評価を行った。さらに、「様式B」のとおり総合的評価を行った。

・「☆印本」は、国語、算数、音楽、生活の4教科があり、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の各教科の目標に則って作成されている。星1つから星3つは、小学部のそれぞれの教科の目標及び内容が、星4つから星5つは、中学部のそれぞれの教科の目標及び内容が当てはまる。このように「☆印本」は、小学部・中学部の目標を受け、教科学習の目的を系統的に学ぶことができるように編成されている。それぞれ、絵や写真が多用され、視覚的に物事を捉えやすくなっていることから、問い掛けに対する考えや表現の仕方を具体的にイメージできるように配慮されている。また、生活場面に即した内容が多く取り上げられており、体験を通して学習しやすく、さらに学習した内容を生活場面でまた繰り返すことによって、理解を深めたり定着を図ったりすることができるように工夫されている。

・絵本等の「一般図書」には、小学校用が88冊、中学校用が48冊、計136冊で、児童生徒の五感を刺激し知的好奇心を引き出せるような、音や音楽の鳴る絵本、触った感触により違いや形の確認ができる絵本、色彩豊かなイラストで興味関心を引いたり、制作方法や完成品を写真で分かりやすく示したりしている絵本や図鑑など、児童の探究心や制作意欲を高めることができる図書が多数ある。また、児童生徒の生活に欠かせない調理、防災、性教育、外国語、道德に関する内容の図書もある。今年度も学習指導要領のねらいに迫る観点から、小学校では算数・生活の領域で9冊、中学校では国語・社会・理科・職業・家庭で8冊が新に加えられている。調査研究において、知的障害を有する特別支援学級の児童生徒一人一人に応じた指導に、すべて適切な図書であると評価した。今回報告させていただいております文部科学省著作教科書いわゆる☆印本19冊、一般図書136冊のすべてが教科用図書として採択されるに適したものである。

【質問・意見等】なし

①文部科学省著作本について

及川 芳彦 議長より「文部科学省著作本」についてすべて採択でよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致ですべて採択で承認

②小学校用一般図書について

及川 芳彦 議長より「小学校用一般図書」についてすべて採択でよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致ですべて採択で承認

③中学校用一般図書について

及川 芳彦 議長より「中学校用一般図書」についてすべて採択でよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致ですべて採択で承認

(3) 小学校用教科用図書（検定図書）について

及川 芳彦 議長より「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条」に基づき、政令で定める期間4年間は使用を続けることとなっていることが確認され、小学校用教科用図書（検定教科書）については、令和5年度に採択され令和6年度より使用しており、令和7年度も一覧表どおりでよいかが諮られた。

【質疑等】なし

全員一致で承認

及川 芳彦 議長が審議の終了を宣言。

8 その他

事務局 島貫 参事兼指導主事より、採択報告書の作成を依頼した。

9 閉会

須藤 清 副会長より閉会の挨拶。

会議のすべてを終了した。

上記のとおり、令和6年度第2回仙台地区教科用図書採択協議会の会議経過及びその結果を明確にするために、この議事録を作成し、会長が署名及び押印する。

令和6年7月16日

仙台地区教科用図書採択協議会 会長 及川 芳彦

